

2024年ヒラメ稚魚分布密度調査結果（日本海）について

当研究所では日本海における天然ヒラメの稚魚分布密度調査を1980年から行っており、2024年は7月16日、8月6日、9月2日に桁網（水工研Ⅱ型）を用いてつがる市沖8点で調査を行いました（図1）。ヒラメの分布密度は桁網の漁獲効率を0.28とすると0-78個体/1,000m²の範囲にありました（表1）。採捕したヒラメの全長組成は7月16日に水深5mと10mで30-39mm、8月6日に水深5mで40-69mm、10mで50-69mmが主体で、9月2日に水深5mと10mで60-99mmとなっていました（図2）。水深別平均分布密度の最高値を着底指数とすると、2024年は51で、1980年以降の平均値144を下回る水準でした（図3）。

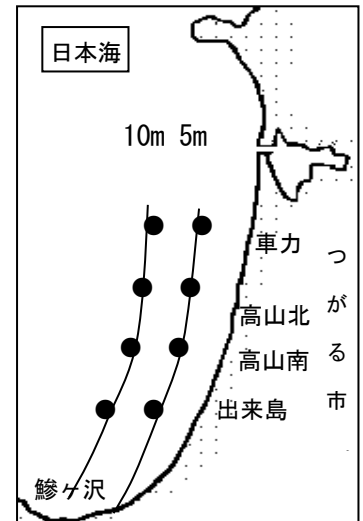


図1 調査地点

表1 ヒラメ稚魚分布密度

日本海	水深								(個体/1,000m ²)	
	5m				10m				5m	10m
	調査月日/調査点	出来島	高山南	高山北	車力	出来島	高山南	高山北	車力	平均
2024. 7. 16		78	54	44	45	12	16	44	43	51
2024. 8. 6		27	44	37	46	8	57	16	15	38
2024. 9. 2		11	4	28	6	0	6	5	3	10

* 桁網の漁獲効率を0.28として算出した。

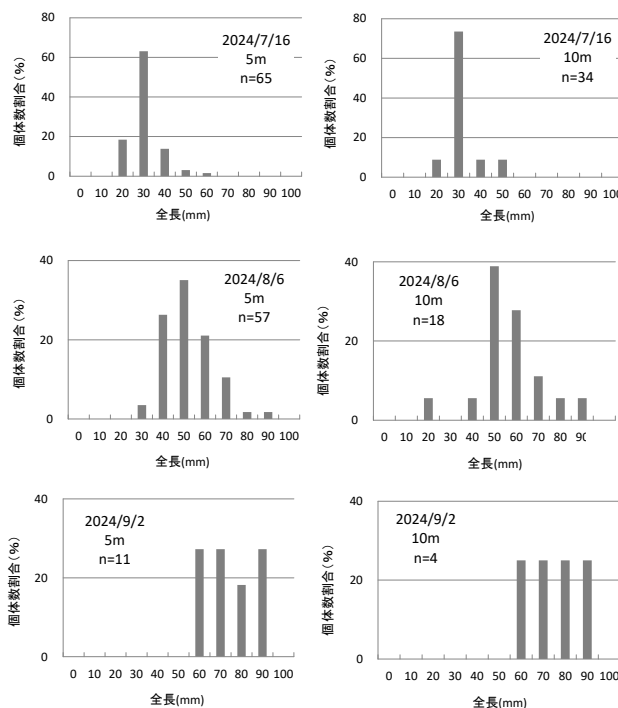


図2 採集したヒラメ稚魚の全長組成

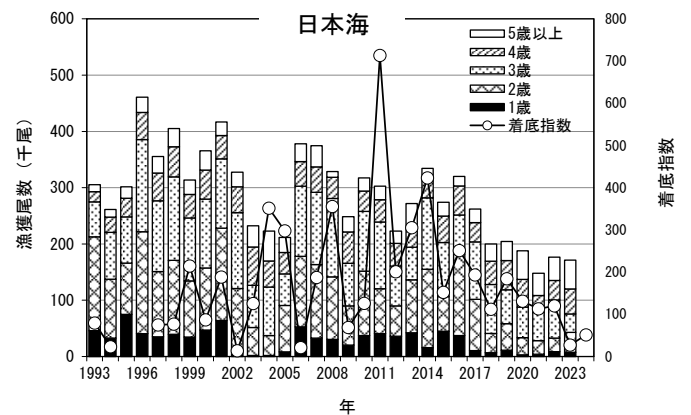


図3 日本海のヒラメ着底指数と年齢別漁獲尾数の推移